

雰囲気の良い職場であふれる社会を目指して・・・



杉下正行

筑波大学にて経営工学を学び、卒業後、P&Gに入社。宣伝本部にてヴィダールサスーンやヴィックスドロップなどのマーケティングに携わる。その後、米国の高級筆記具メーカーである株式会社クロス・オブ・ジャパンに転職。約6年にわたり、営業を経験。初対面の方に、「いかにして心を開いていただくか」の場数を積む。次に、コンサルティング会社に入社。伝統文化を未来に残す事業では、人間国宝の方の織物の技術を残すため、商品開発や、イベント開催、マーケティングおよびコンサルティングを行う。同時に、大手外資系メーカーや大手菓子メーカーなどの、販売促進・マーケティング・集客のコンサルティングを行う。

また、自らビジネスモデルを開発し、運営方法や、その雰囲気作りにいろいろな工夫を施したイベントを企画。スタートしてから約10年の間に、のべ約3万人が参加し、現在も継続中。

現在は、このイベントでも使っている「雰囲気をよくする仕組み」を広く社会に広めるために、企業を対象に、セミナー、研修、講演やコンサルティングを行っている。

活動フィールド

雰囲気の良い職場作り研修と実践 チームビルディング 組織活性化のためのコミュニケーション
プレゼンテーション研修 発想法スキルアップ研修 経営理念・ビジョンの明確化・作成
プロジェクトマネジメント 集客コンサルティング・ウェブマーケティング
新規ビジネスアイデアを具現化

【企業支援・研修実績など】

- 数年間、お局さんで悩んでいた組織に対して、全従業員を集め2時間のセミナーを開催したところ問題がすんなり解決。風通しの良い職場に変身した。しかも、その効果は数ヶ月以上継続！
- 10年以上に渡りイベントを継続的に開催し、参加者がのべ3万人を超えたが、「雰囲気の良い場作り」のノウハウを実践し続けているおかげで、トラブルがほとんど無いどころかアットホームだと評判に！その結果、リピーターが多数生まれ、イベントの継続に寄与している。
- 幼稚園のパパ会を「いい雰囲気」になるように指導しつつ実践。その結果、パパ会が盛り上がり、他の幼稚園と大きく差別化ができ、保護者の間でその幼稚園の評判が非常によくなり、例年3クラスだったのが、4クラスになった。
- イベントの運営スタッフに対して、自分と同じ雰囲気を作れるように指導。結果、どの会場でも「アットホーム」との評価を得ている。つまり、雰囲気を良くする方法は、再現性があり、トレーニングをすれば、誰でも出来るようになる。

【企業支援にあたっての想いなど】

「衣食足りて礼節を知る」という言葉があるように、いくらワークライフバランスに取り組もうとしても、会社の売上げが下がってしまうリスクがある限り、二の足を踏んでしまうのは、当然の事だと思います。

ですので、私は、売上げが上がる体制を作りながら、職場の雰囲気をよくして行く事を実施することをまず行ないます。ワークライフバランスの実現は、その先にあると思っております。

具体的には・・・①「社内の雰囲気を改善・活性化し、個々のパフォーマンスを上げる」のと同時に、②「会社のビジョンを創り上げ、全社に浸透させていく」ことで、全社員がひとつの方向に向かって、全力で走ることができる仕組みを構築。・・・つまり、まず、組織力を高める。そして、③「マーケティングを組み合わせる」ことで、大幅に業績アップをさせつつ、従業員の皆さんの勤務時間を減らし、ワークライフバランスの実現をサポートさせていただきます。

なお、職場の雰囲気作りは、一瞬で改善出来る部分もございりますが、継続的に磨き続ける必要がございます。ですので、そのための「楽しく続けられる仕組み」をご提案させていただきつつ、実践・定着までフォローさせていただきます。